

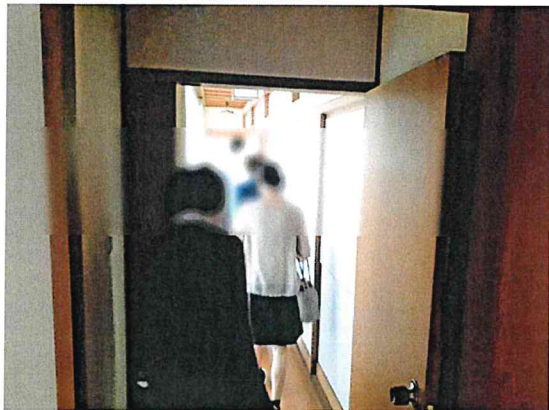
報告書

令和 7 年 6 月 2 日 作成

所 属	ハウスえちぜん	氏 名	富樫 正行
会 議 名	地域連携推進会議報告		
開 催 日	令和 7 年 5 月 30 日 14:00~15:10 (事業所見学含む)		
会 場	ハウスえちぜん		
参 加 者	利用者様・ご家族様・民生委員様・社会福祉課担当者様・GH世話人・GH管理者		
添 付 資 料	会議資料I部 (令和7年度 地域連携推進会議)		
報 告 事 項	I.目的		
	I. 地域の方との関係づくり		
	II. 事業所への理解促進		
	III. グループホームや福祉サービスの透明性・質の確保		
	IV. 利用者の権利擁護		
	2.事業所紹介		
	別添資料参照 (令和7年度 地域連携推進会議)		
	3.利用状況及び活動状況報告		
	別添資料参照 (令和7年度 地域連携推進会議)		
	4.意見交換		
所 感	民生委員様 ・家久町で5名の民生委員がいる。今回は自分が参加させてもらった。近くに施設があることは知っていたが、詳しくは知らなかったので良い機会になった。 ・地区の行事等に参加しているか?→草むしり、溝掃除等の作業奉仕は富樫が参加している。町内会の集まりには参加していない。今後必要なら利用者含めて参加していきたい。 ・民生委員の集まりで障害者について学ぶ部会がある。そちらとも連携してもらいたい。→市社協の担当者ともそういった部会があることは情報共有している。事業所見学の依頼があったこと、機会があれば対応したいとお伝えする。		
	社会福祉課担当者様 ・ハウスえちぜんⅡについて、事業所見学时に幾つか質問され、返答している。		
	ご家族様 ・親がいなくなった時にGH→自宅での生活させたい、今は甘えもあるのでGHで生活習慣が整うと良い、今後も継続して日中は通所できると良い等、自身の子供についての話をされる。→居宅介護の説明を行う。		
	利用者様 ・今のところ質問はない。		
	5.事業所見学		
	ハウスえちぜん 今回は会議に参加した利用者様の居室も見学させていただく。綺麗に整理されていること、居室外にかかっている入室OKor入室NGの札への質問があった。共有部分(リビング、風呂等)については自炊について質問がある。ある程度自立した利用者が生活しており、各自が調理及び宅食で摂っていることを説明している。		
	今回は初めての会議で事業所説明と障がい者グループホームについての説明を行っている。参加した民生委員の方もこれから勉強していきたいと前向きな発言が聞かれた。介護医療連携推進会議と同じように今後も継続した会議及び地域の方と繋がりをもった事業所となるように努めていきたい。		

報告書

令和 7 年 6 月 2 日 作成

所 属	ハウスえちぜん	氏 名	富樫 正行
会 議 名	地域連携推進会議報告		
開 催 日	令和 7 年 5 月 30 日 14:00~15:10 (事業所見学会含む)		
会 場	ハウスえちぜん		
参 加 者	利用者様・ご家族様・民生委員様・社会福祉課担当者様・GH世話人・GH管理者		
添 付 資 料	会議資料1部 (令和7年度 地域連携推進会議)		
報 告 事 項	     		

令和7年度 地域連携推進会議

○ 目的

- I. 地域の方との関係づくり
- II. 事業所への理解促進
- III. グループホームや福祉サービスの透明性・質の確保
- IV. 利用者の権利擁護

○ 日時 令和7年5月30日（金）14:00～

○ 場所 ハウスえちぜん：福井県越前市家久町88-17-7

○ 参加者

利用者	様	ご家族	様	民生委員	様
社会福祉課	様	GH		管理者	

1. 自己紹介

2. 事業所紹介

3. 利用状況及び活動状況報告（報告期間：令和6年4月～7年3月）

4. 意見交換（評価・助言・要望・地域の情報交換等）

5. 閉会

※閉会後にハウスえちぜん見学も行います。

【次回開催】1回/年を予定しております。

資料

2. 事業所紹介

法人名	社会福祉法人 六条厚生会
事業所名	ハウスえちぜん
事業所所在地	福井県越前市家久町88-17-7
連絡先	TEL：0778-42-6512（コミュニティーえちぜん）
事業種別	共同生活援助（外部サービス利用型）
利用者定員	7名

※別添資料参照（パンフレット）。

3. 利用状況及び活動状況報告（報告期間：令和6年4月～7年3月）

□ 障がい者のグループホームとは（障がい者グループホームの種類について）？

グループホームには障がい者を対象としたグループホームと認知症患者を対象としたグループホームがあります。その中で障がい者を対象としたグループホームには下記のような4つの種類があります。

当法人が運営している「ハウスえちぜんⅠ」はこの中の外部サービス利用型グループホームとなっております。また、国高地区には「ハウスえちぜんⅡ」があり、こちらも同タイプのグループホームです。こちらは1Kの部屋で生活していただいております。

介護サービス包括型（どの障がい種でも受け入れ可能）

- ・夜間や休日に介護を必要とする方向けのグループホームです。サービス内容は食事・入浴・排泄などに伴う介護がメインとなります。
- ・生活支援員や事業所の従業者は、日常のサポートに加え、就労先との連絡役を担ったり、休日の余暇活動を充実させるためのサポートも行なっています。

外部サービス利用型（支援区分なし、1～2の軽度の障がい者）

- ・自立した日常生活を営む上で、相談などの援助を必要とする障がい者の方を対象としたグループホームです。
- ・入浴等の介護は事業所が委託している介護事業者から受けられます。基本的には、利用者の多くが障害の程度が軽い傾向にあります。

日中活動サービス支援型（支援区分3～6の重度の障がい者）

- ・重度の障がい者、または高齢で他の日中活動サービスを受けられない障がい者の方を対象としたグループホームです。家事や相談などの日常生活上のサポートや、食事・入浴・排泄の介護サービスを提供します。他のグループホームと違って日中の時間帯もグループホームで過ごすことができます。日中も利用できることから、世話人や生活支援員の人数が他のグループホームより多めに配置されています。

サテライト型（軽度の障がい者：将来一人暮らしを目指している方等）

- ・グループホーム近隣の住居で、一人暮らしに近い環境での生活を送れるのが特徴です。自立した生活をしながら、グループホームで他の入居者と交流したり食事を楽しんだりできます。また、困った時には生活支援員のサポートも受けられます。原則として利用期間は2年間で、将来的に一人暮らしを目指している方に適したスタイルのグループホームです。

支援区分

1

2

3

4

5

6

支援度

軽度

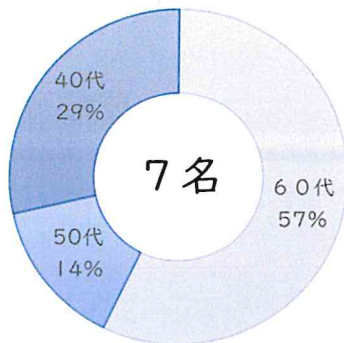
重度

※ 支援区分：障がい特性や心身の状態に応じて必要とされる標準的な支援の度合いを示す指標

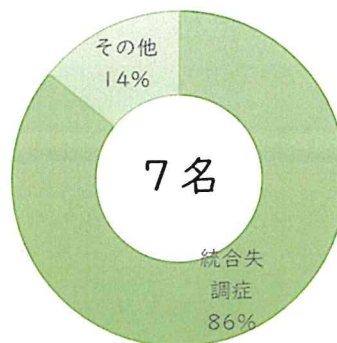
□ ハウスえちぜん利用状況について

現入居者	7名※令和7年3月末現在
性別	男性のみ

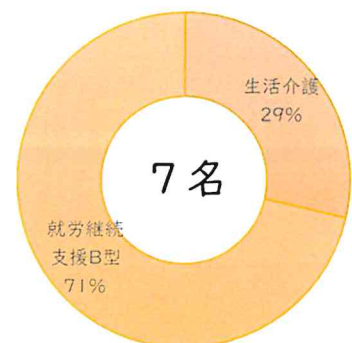
年齢別利用状況



疾患名



日中活動先



60代	50代	40代
4名	1名	2名

統合失調症	その他
6名	1名

就労継続支援B型	生活介護
5名	2名

□ どういった生活を送られているか（利用者さんの日課）？

時間	日課	備考
平日 6 : 3 0	起床	各利用者さんが個室で生活しています。
7 : 0 0	朝食⇒通所準備	各自が調理して、摂っています。
8 : 3 0	通所（送迎車利用）	コミュニティーえちぜんに通所します。
※ 平日は同法人日中支援事業所へ通所していますが、休まれる利用者もいます。		
1 3 : 0 0	帰宅	自身で電車に乗って帰られる方もいます。
1 5 : 3 0	帰宅（送迎車利用）	
1 6 : 0 0	GHでの生活	利用者さんは帰宅後、夕食作り・入浴・洗濯・掃除・買い物 外出・余暇等それぞれの生活を送ります。支援員は個別支援 計画に沿って支援及び生活面の相談などを行っています。
1 7 : 3 0		
※ それ以降は、支援員は不在となりますが緊急時及び夜間に対応ができるように連絡手段を整備しています。		

休日 6:30	起床	各利用者さんが個室で生活しています。
7:00	朝食⇒通所準備	各自が調理して、摂っています。
8:30	通所（送迎車利用）	コミュニティーえちぜんに通所します（午前のみ）。
※ 土・祝は利用者さんによっては午前中通所される方もいます（午後はGHで生活）。		
※ 休日は支援員がいない日もあります。平日同様不在の際の連絡方法は周知しており、利用者さんから何かあれば連絡がくるようになっています。		

日中活動は当法人が運営している多機能型事業所コミュニティーえちぜんへ通所されています。

□ どういった生活を送られているか（利用者さんの生活の様子）？



ハウスえちぜん

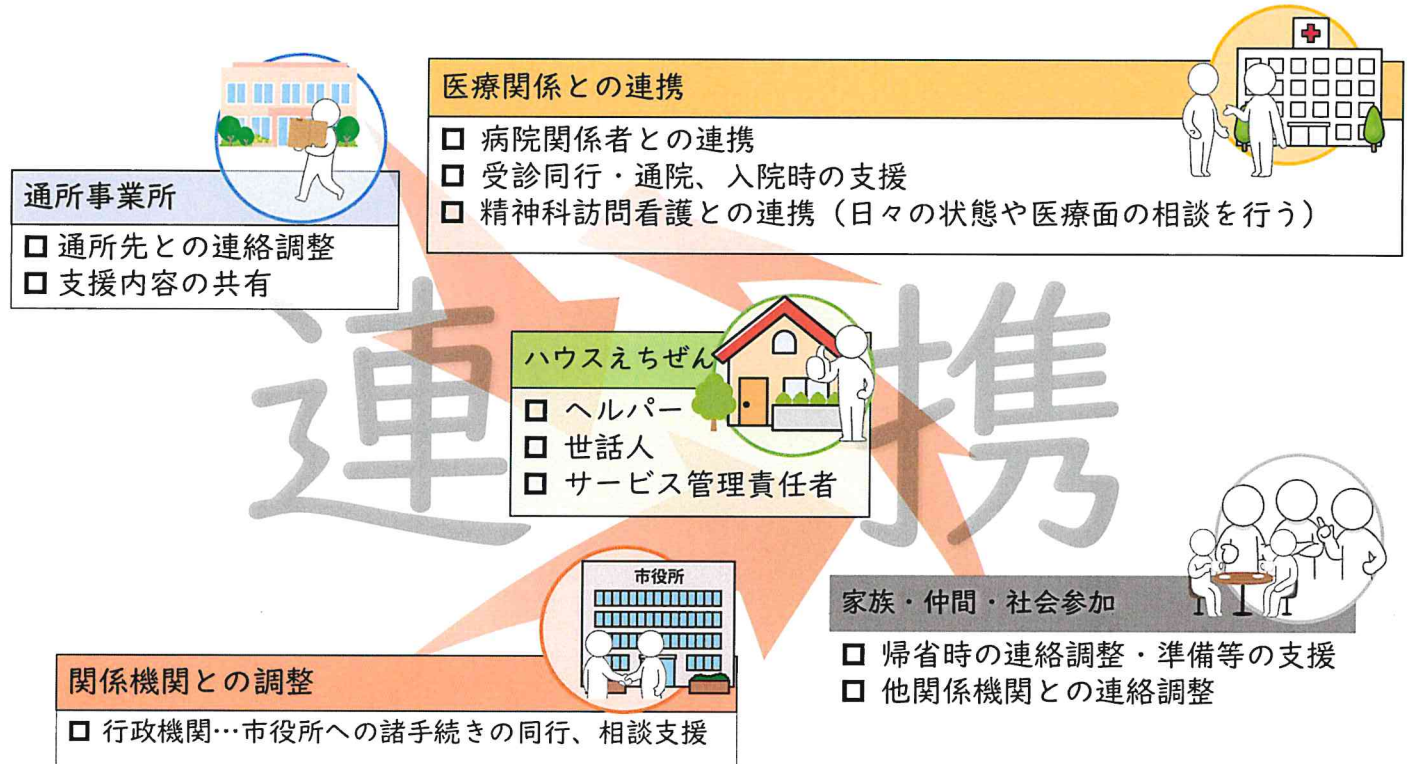


□ 支援員とは？一人暮らしに向けての役割

- ・ 個別支援計画（1回/半年程度）の作成。支援内容の変更があれば見直しを行います。
- ・ 相談支援
- ・ 定期的なカンファレンスの実施（モニタリング）
- ・ 病院や役所への同行支援
- ・ 他機関との連絡調整（ご家族、訪問看護、他福祉サービス事業所、日中活動先等）
- ・ 掃除、買い物、調理、金銭管理、服薬管理等の援助

利用者さんの「地域で生活していきたい」「いつかは一人暮らしをしたい」といった想いを
実現する為に上記内容をメインに支援員は生活技能スキルアップのお手伝いをしています。

グループホームとの連携図



●目的●

利用者様の力に合わせ、ご本人(家族)様の望むスタイルで地域社会の中で生活できるようにすることを目指しています。

●利用料金●

家賃・・・30,000円～40,000円/月
水道光熱費・・・定額制(9,000円～15,000円)※1

日用品費・・・定額制(500円～1,200円)※1

町内会費・・・定額制(66円～138円)※1

※1 上記金額は令和6年度のもので、

※2 ハウス六条のみ、居室電気代は実費となり、共用部分の電気代のみ定額制となります。

●各住居の定員●

ハウス六条 定員7名
ハウス板垣 定員20名
プリズム 定員3名
ハウス花堂 定員7名
ハウス松本Ⅰ 定員10名
ハウス松本Ⅱ 定員7名
ハウス松本Ⅲ 定員6名
ハウスえちぜん 定員7名
ハウスまるおか 定員6名

地域の民家やアパートで生活しています。
日中は雑居や障害者施設で活動しています。
グループホームには、支援員がいて(8:30
～17:00)生活面での支援を行います。

●設備●

食器、キッチン、トイレ、お風呂は共有です。
全室個室制です。

●苦情受付について●

当施設では、社会福祉法第82条の規定により、
福祉サービスに関する苦情に適切に対応する
体制を整えています。

●利用までの流れ●

①受付・見学

まずは見学していただきます。
下記事業所にご連絡ください。

②障害福祉サービス受給申請

お住まいの市町村に、障害福祉サービス(共同生活援助)の利用申請をしていただきます(申請の仕方はご支援いたします)。その後、障害福祉サービス受給者証が発行されます。

③利用契約

当事業所とサービス利用の契約を行います。
個別支援計画を作成し、利用開始となります。

※ 宿泊体験をすることも出来ます。
ご相談ください。

◆各グループホームのお問い合わせ先◆

・ハウス六条 918-8135 福井市下六条町217番8
・ハウス板垣 918-8104 福井市板垣3丁目1201
・ハウス松本Ⅰ 910-0003 福井市松本1丁目15-33
・ハウス松本Ⅱ 910-0003 福井市松本1丁目14-7
・ハウス松本Ⅲ 910-0003 福井市松本1丁目14-8
・ハウス花堂 918-8012 福井市花堂北2丁目15-33
※福井市のグループホームに関するお問い合わせは
【0776-41-8060】へお電話ください。

・ハウスえちぜん ☎0778-42-6512
915-0801 越前市松本2丁目3番22号 やわらぎビル1階
(コミュニティえちぜん)
・ハウスまるおか ☎0776-66-2244
910-0242 坂井市丸岡西里丸岡第8号7番地2
(コミュニティまるおか)

MAIL: shougaihonbu@rokuiyokoseikai.jp
URL: https://rokuiyokoseikai.jp/

社会福祉法人 六条厚生会
指定共同生活援助事業所
グループホーム





間取り図

1K/3室

※間取りは部屋によって若干異なります。

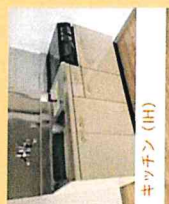
アパートタイプ



洋室



キッチン (洗濯機スペース)



キッチン (IH)



風呂・トイレ



設備



男性・女性
どちらもOK!



利用料金

家賃: 39,500円

※家賃補助(特定障害者特別給付金)のある方は上記金額から10000円を引いた金額となります

水道光熱費: 実費

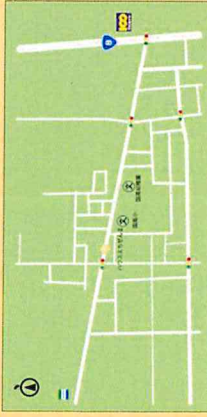
日用品費: 900円

食費: 実費
※ご自身で準備していただきます
※施設サービス等、ご相談ください



住宅設備トラブル対応
24時間365日相談できるお電話窓口

- 玄関の鍵の紛失
- トイレが詰まった
- 蛇口の故障
- 電気が通らない
- 窓ガラスが割れてしまった 等



社会福祉法人 六条厚生会
ハウスえちぜんII

〒915-0082 福井県越前市国高1丁目14



グループホーム
ハウスえちぜんII OPEN



ご利用者様
募集中!!

ご見学・体験利用も
随時受付中お風呂に
ご連絡ください。

地域で生活していきたい
障がいをお持ちの方を
支援します!
自立と自由を
手に入れます!

主なサービス内容

ご利用者様の障害特性に応じた幅広い
支援・環境調整を行います。



通院を支援

必要に応じて受診代行・診察時のサポートまでさせていただきます。不安のある方はご相談ください。
○送迎員が病院まで同行
○医師、フーカーとの連携



掃除・洗濯を援助

掃除・洗濯が苦手な方は一緒に行っていきましょう。
○掃除、洗濯のお手伝い
○生活面のスキルアップのお手伝い



社会奉仕活動

職員と一緒に地域の社会奉仕に参加し、地域生活を学んでいきましょう。
○地区の活動への参加
○ゴミ収集車の清掃
○社会奉仕活動等



お金の管理を支援

日々の金銭の把握を一緒にに行います。お金の使い方を学んでいきましょう。
○貯蓄の管理
○貯蓄の相談等



健康管理を支援

処方された服薬と一緒に服薬チェックしていきましょう。
○服薬カレンダーの管理をお手伝い
○服薬準備のお手伝い
○日々の健康観察
○関係機関との連携



ホームミーティング

グループホームの仲間と定期的に話し合いを行います。より良いグループホームにしていきたいと思います。
○困りごと相談
○イベントの計画と実施 (BBQ会等)

まずはお気軽にお問合せ、ご相談ください!!

☎0778-42-6512

8:30~17:30 定休日:土・日・祝 担当: 斎藤

✉:echizen@rokujiyokoseikai.jp

